

女性活躍に関するこれまでの取り組み

2014年

- 3月20日 「女性技能労働者活用方策」および「女性技能労働者活用のためのアクションプラン」を理事会決定
- 8月5日 女性を主体とする「なでしこ工事チーム」の登録制度を開始
- 8月22日 「もっと女性が活躍できる建設業へ向けた国土交通省と建設業5団体の会談」において、「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」を策定
「もっと女性が活躍できる建設業を目指して 一日建連の決意」を発表
※女性技術者・技能者を5年以内に倍増。
直近では女性技術者1万人、女性技能者9万人
- 9月 日建連広報誌「ACe建設業界」にて、「いま、建設業で活躍する女性たち」を特集
- 10月28日 建設業で活躍する女性技術者・技能者の愛称を募集し、「けんせつ小町」と決定

2015年

- 1月22日 「けんせつ小町」ロゴマーク披露
- 3月 日建連が「再生と進化に向けて ー建設業の長期ビジョンー」を作成
- 4月1日 「けんせつ小町委員会」発足
- 4月13日 「第1回けんせつ小町委員会」開催
「けんせつ小町が働きやすい現場環境整備マニュアル」を発表
- 7月 「けんせつ小町活躍現場見学会2015」を開催（全国14現場）
- 10月30日 「けんせつ小町が働きやすい現場環境整備マニュアル」のチェックリストを策定

2016年

- 1月1日 「なでしこ工事チーム」の名称を「けんせつ小町工事チーム」に変更
- 3月22日 第1回（平成27年度）けんせつ小町活躍推進表彰
- 7月 「けんせつ小町活躍現場見学会2016」を開催（全国15現場）
- 7月4日 国土交通省に女性の活躍推進に関する要望書を提出
- 11月2日 建設業への女性の入職を促進するポスターを制作

2017年

- 3月22日 第2回（平成28年度）けんせつ小町活躍推進表彰
- 4月25日 けんせつ小町ホームページ リニューアルサイト公開
- 7月 「けんせつ小町活躍現場見学会2017」を開催（全国15現場）

2018年

- 3月12日 第3回（平成29年度）けんせつ小町活躍推進表彰
- 7月 「けんせつ小町活躍現場見学会2018」を開催（全国17現場）

けんせつ小町

は建設業で活躍する女性の愛称です

ストレートに「建設」と、美しく聡明な女性を表現した「小町」の組み合わせは、建設業界の呼称として解りやすく、時代に左右されないものです。また「けんせつ」はひらがな表記で、柔らかい雰囲気と親しみやすさを表現しています。「けんせつ小町」は、愛称を公募し、2,940件の中から会員企業の女性技術者で構成する審査会を経て決定しました。

ロゴマーク（2015年1月作成）

建設業で活躍する女性の愛称・ロゴマークです



ヘルメットを花びらに見立て、建設業で明るく活き活きと活躍する女性を表現しています。5枚の花びらは、建設業の重要なファクターであるQ（品質）、C（費用）、D（工期）、S（安全）、E（環境）に因んでいます。

けんせつ小町の愛称ならびにロゴマークは日建連の登録商標です。

けんせつ小町工事チーム200件突破！

2014年8月の登録開始以来、200件を超えるけんせつ小町工事チームが登録され、全国各地の建設現場でけんせつ小町が活躍しています。（2018年12月1日時点の登録数：244チーム）けんせつ小町工事チームに登録したことで女性たちの意識が高まり、現場ごとに様々な取り組みが行われています。



登録200件目の「ATG54」

一般社団法人 日本建設業連合会
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館
TEL 03-3553-4095（広報部直通） FAX 03-3551-4954
URL <http://www.nikkenren.com/>

2019年1月作成

もっと女性が活躍できる建設業を目指して



再生と進化に向けて ー建設業の長期ビジョンー

日建連が2015年3月に発表した長期ビジョンでは、高年齢層の離職を背景に2025年までに128万人程度の技能者の減少を見込んでおり、生産性の向上による35万人分の省人化と、若者を中心に90万人の新規入職者確保という目標を掲げました。少子化で生産年齢人口の減少が見込まれる状況で、90万人はかなり高い目標であり、うち20万人は女性技能者で確保することを目標としています。

新規入職者の確保 **90万人**（うち女性20万人以上）
生産性向上による省人化 **35万人**

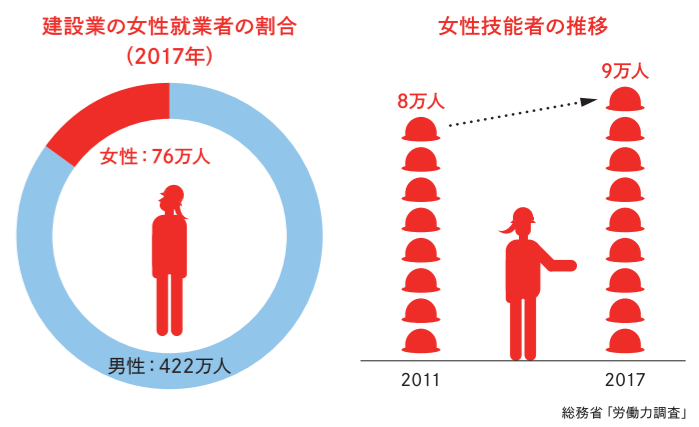
もっと女性が活躍できる建設業を目指して ー一日建連の決意ー

日建連は2014年3月にアクションプランを策定し、女性技能者数を5年以内に倍増することを目指して、専門工事業や協力会社などと連携しつつ、積極的な取り組みを始めました。さらに2014年8月には、将来に向けて活力ある建設業を再生し維持するため、これまで男性中心であった建設生産方式を女性が持てる力を存分に発揮できるものに再構築することを決意し、以下の通り今すぐに始められることから取り組むことにしました。

技術系女性社員の比率を5年間で倍増、10年間で10%程度に引き上げる	1	女性管理職を5年間で倍増、10年で3倍程度	2
現場環境を改善するためのマニュアルを早急に策定	3	「けんせつ小町工事チーム」を日建連に登録、HPで紹介	4

建設業で働く女性の現状

建設業で働く女性は、2011年は70万人でしたが2017年には76万人と増加しています。このうち、女性技能者も同様に8万人から9万人と増えています。女性就業者が増えることは、建設業での働き方の多様化につながり、現場を含めた職場環境の改善、長時間労働の是正などが進むことが期待されます。



総務省「労働力調査」

夏休み特別企画
けんせつ小町活躍現場見学会

2015年から国土交通省後援のもと、夏休み特別企画として女子小中学生限定の現場見学会を毎年開催しています。第4回目となる2018年は、会員企業17社の協力のもと、全国各地の土木・建築現場で374名が参加。取組み開始からの4年間では計61カ所の現場に、延べ1,573名の女子小中学生と保護者たちが、けんせつ小町たちの案内で現場を見学、体験しています。



輝け!けんせつ小町

広報誌「ACe建設業界」では、毎号様々な分野で活躍しているけんせつ小町を取り上げ、建設業界を目指したきっかけや仕事のやりがい等を紹介しています。

土木技術者
「人々の暮らしと安全を守る。たくさんの人の役に立てるこの仕事は天職」

現場監督
「泥臭いけどやりがいを感じる。未経験の現場にも行き、もっと視野を広げたい」

現場監督
「泥臭いけどやりがいを感じる。未経験の現場にも行き、もっと視野を広げたい」

現場監督
「土木は人の生活をこんなにも変えることができるんだ、と感銘を受けた」

意匠設計者
「未来を想像しながらの設計で、自分の考えをカタチにすることが楽しい」

現場監督
「震災を契機に、安心して使える建物をつくっていきたいという想いが生まれた」

意匠設計者
「お客様の心をつかんで、離さない。そんな設計者になりたい」

現場監督
「思いがけない場所に赴き、その場所を楽しめることも現場監督という仕事の魅力」

技能者STORY “つくる”に魅せられた女性たちの物語を公開

専門工事を行う協力会社でもけんせつ小町は活躍しています。2018年8月、日建連はホームページ内に「技能者STORY」を公開しました。協力会社における女性の新規入職と定着を図ることを目的として、現場で働く女性技能者たちに焦点を当て、等身大の姿を取材。「“つくる”に魅せられた女性たちの物語」として皆様にお届けします。未来のけんせつ小町へ向けた、力強いメッセージがたくさん詰まったストーリーが満載です。ぜひご覧ください。

技能者STORY 検索



技能者STORY

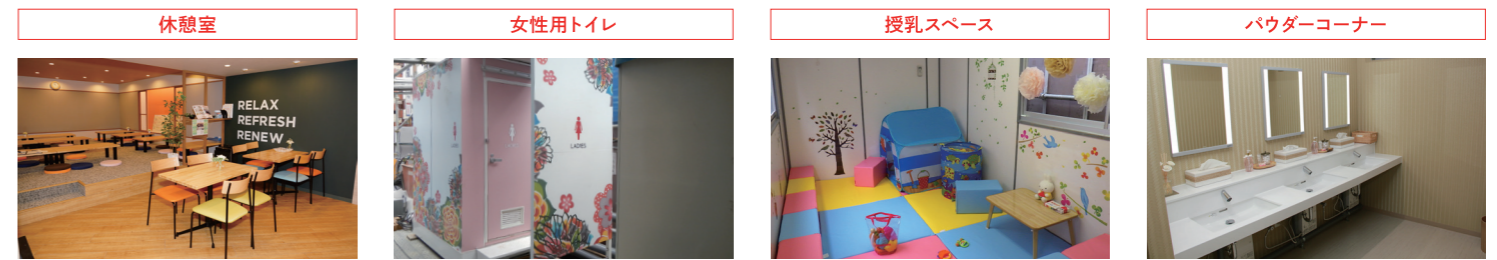
第1回
鉄筋工 (てっさんこう)
鉄筋コンクリート構造物のコンクリートの中には、外からは見えませんが、骨組みとなるかご状の鉄筋が埋め込まれています。この鉄筋を建物の構造体に従って組み立てていくのが、鉄筋工事の仕事です。

「家族の応援と経験を糧に、前進!!」
湯澤奈々美さん (株式会社太平建設)

第2回
内装仕上げ工 (ないそうしあげこう)

「けんせつ小町」が働きやすい
現場環境整備マニュアル

日建連では、2015年4月に、女性が働きやすい現場環境を整備するための指針として、『「けんせつ小町」が働きやすい現場環境整備マニュアル』を、そしてこのマニュアルのフォローアップとして、同年10月に『「けんせつ小町」が働きやすい現場環境整備マニュアルのチェックリスト』を策定しました。さらに2019年1月には、スマートフォンなどで使える「現場環境簡易チェックリスト」を公表し、気軽に現場の整備状況が確認できる仕組みを整えました(右のQRコードから簡易チェックリストにアクセスできます)。回答後には達成度を表す点数と、よりよい環境にするためのアドバイスが表示され、この“見える化”により環境整備が容易かつ具体的に進められます。



けんせつ小町活躍推進表彰

2015年度に創設した「けんせつ小町活躍推進表彰」は、建設業で働くすべての女性の活躍推進に資する活動を表彰するもので、作業所、内勤部署の職場単位、個人、職場横断的なグループなど幅広く対象としています。2017年度は日建連会員企業以外からも応募がありました。各社の取組みが建設業界の“当たり前”へと変わっていくことを期待しています。



現場環境整備マニュアルの活用やけんせつ小町工事チームの活躍により、建設現場で働くすべての人が働きやすい環境の実現を目指しています。



※掲載写真は各社の取組み例です